

ホスピスケアと在宅ケア61 Vol.22 No. 2

目 次

■プログラム	ご挨拶	ii
	日程表	iv
	会場へのアクセス	vi
	会場案内図	viii
	参加者へのご案内	x
	演者・発表者・司会者へのご案内	xiv
	プログラム一覧	xvii
■抄録		
大会長講演	なぜ2020年なのか	87
理事長退任記念鼎談	研究会23年の活動を振り返りつつ	89
特別講演①	「住みなれた地域で、最期を迎えたい・・・家で死ぬということ」	91
特別講演②	人生の最終章を創る10の心得 ～「物語を生きる人間」の視点から～	93
基調講演	少子高齢社会の現状と課題	95
教育講演	アドバンス・ケア・プランニング — ‘もしもの時’に備え、‘人生の終わり’について話し合いを始める—	97
講演①	「臨床宗教師」の社会実装 — 震災被災地から超高齢多死社会へ—	99
シンポジウム①	地域包括ケアシステム 「それぞれの立場で2025年問題に対して2020年までに準備できることは何か」	101
シンポジウム②	「自分で決める自分の将来」受たい医療・ケア/受けたくない医療・ケア	106
シンポジウム④	地域で認知症患者・家族を支援するために ～我々ができること～	111
シンポジウム⑤	ケアマネジャーと考える地域包括ケアシステム	116
シンポジウム⑥	暮らしの中でのホスピスケアを考える	121
シンポジウム⑧	介護施設における看取りの現状と課題	127
部会プログラム①	いのちの共有に求められること いのちを尊ぶ	133
部会プログラム②	看護（介護）における実践スピリチュアルケア	135
部会プログラム③	日本の緩和ケアの現状と課題 ガチンコ対決「緩和ケア」×「ホスピスケア」	142
部会プログラム④	臨床宗教師の可能性	145
部会プログラム⑤	死別の悲しみを大切に、そして新しい歩みへ	148
部会プログラム⑥	エンディングノートを書いてみよう	149
部会プログラム⑦	瞑想にチャレンジ =Part 2 =	152
一般演題抄録	一般口頭発表演題	155
一般演題抄録	一般ポスター発表演題	218
ランチョンセミナー①	在宅看取りの現状・話題・課題	261
ランチョンセミナー②	「よりよく眠るための心得・眠りのヒント」	262
茶話会①	～現場の生の声を語ろう～ 在宅ケアの実際	263
茶話会②	～現場の生の声を語ろう～ ホスピス・緩和ケア病棟	264
茶話会③	～現場の生の声を語ろう～ 認知症がある場合の対応	263
茶話会④	～現場の生の声を語ろう～ 在宅での困難事例への対応	264
特別プログラム①	「Tsunamiヴァイオリン — 千の音色でつなぐ絆—」コンサート	265
特別プログラム②	映像で語る“平穏死”	268
特別プログラム③	癒しの芸術・癒しの体験フィーリングアーツ	269
特別プログラム④	半日で身につく認知症コミュニケーションのコツ	270
特別プログラム⑤	“手当て”でコミュニケーション～ 施設での事例及び成果報告～	273
市民公開講座	「死後のプロデュース」 ～エンディングノートの向こうにあるもの～	275
研究会より	寄稿のご案内、日本ホスピス・在宅ケア研究会のご案内	xli